

2023年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	こうさか ゆうき				
教員氏名	高阪 勇毅	職 位	准教授	学 位	博士（経済学）
アルファベット表記	Youki Kohsaka				
専門分野		ファイナンス・行動経済学			
研究課題	テーマ	編入学試験対策としてのマクロ経済学指導法			
	概要	編入学試験対策として望ましいマクロ経済学指導法を確立するため、教科書選定、試験問題の傾向を調査し、カリキュラムづくりの参考にした			
本年度 研究業績	研究費	総額：987,620 円 内訳：個人研究費 220,000 円 / 科学研究費 767,620 円 そ の 他 円			
	研究テーマ	現先聞裁定の実証、新型コロナウイルス感染症と幸福度			
	経過と到達点	注文データの加工・整理、COVID-19 拡大による幸福度の低下とその後の改善の発見			

（1）学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
① 英文査読論文	Association between the COVID-19 Vaccine and Preventive Behaviors: Panel Data Analysis from Japan	2023/04	共著	Vaccines, Vol. 11, No. 4810.	Eiji Yamamura; Youki Kohsaka; Yoshiro Tsutsui; Fumio Ohtake, Vaccines, Vol. 11, No. 4810. (データ整理・分析担当) ワクチン接種が予防行動の変化と関連するかどうかを検討した。

	Gender Differences of the Effect of Vaccination on Perceptions of COVID-19 and Mental Health in Japan	2023/04	共著	Vaccines, Vol. 11, No. 4822.	Eiji Yamamura; Youki Kohsaka; Yoshiro Tsutsui; Fumio Ohtake, Vaccines, Vol. 11, No. 4822. (データ整理・分析担当) ワクチン接種が COVID-19 と精神的健康の認知に及ぼす影響を比較した。
② 和文査読論文					
③ 英文論文					
④ 和文論文					
⑤ 紀要論文	京都のゆるキャラの印象評価とその分析	2024/2	共著	『京都経済短期大学論集』第 31 巻 2 号	本研究では、京都のゆるキャラ 30 体の印象調査を行った。主成分分析の結果、第 1 主成分は「ご当地キャラクターらしさ」、第 2 主成分は「格式らしさ」と評価できた。
⑥ 紀要研究ノート、専門誌記事等					
⑦ 学会での口頭発表、討論者(ディスカッサント)					

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧ 共著書・共訳書				
⑨ 単著書・単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩ 共同研究 (研究代表)				

⑪単独研究	現先間裁定関係による市場効率性の計測 (研究代表者:高阪勇毅)	2023 – 2025	基盤研究(C)	本研究では現先間の無裁定関係を利用し、日本の株式市場の効率性の変遷を明らかにする。
⑫共同研究 (分担研究)	軍事リスク問題の経済学的解明:日本とイスラエルの比較分析 (研究代表者:筒井義郎)	2023 – 2027	国際共同研究加速基金(海外連携研究)	本研究課題は、この経済学の視点から、日本が軍事リスクの高まりにどのように対処すべきかを考察する。
⑬科学研究助成事業 (日本学術振興会)申請	※ 申請した場合は「申請」と記入。			

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
	講義	金融論、ミクロ経済学、行動経済学	マクロ経済学、経済英書講読Ⅰ、編入対策特講Ⅰ
	演習	基礎ゼミ、ゼミナールⅡ、ゼミナール特別活動	ゼミナールⅠ、ゼミナールⅢ、ゼミナール特別活動
教育内容・方法 の工夫	実習		
	◆ 講義科目 金融論・ミクロ経済学（穴埋め式レジュメの作成、Google フォームによる経済実験の実施、Google フォームによる授業時間外課題の作成・出題・回収、YouTube によるアーカイブ配信、YouTube による課題解説） マクロ経済学・経済英書講読Ⅰ（Google フォームによる授業時間外課題の作成・出題・回収）		
	◆ 演習科目 Office365 共同編集機能を活用したグループワーク、Discord を利用した連絡体制の構築		
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）		

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
① 委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

（2）学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

（3）講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	1. 京都経済短期大学 経営情報学会（2023年9月6日）登壇者 論題「株式市場の効率性の計測」 概要：株式市場の効率性の計測法を紹介 2. 福山大学経済学研究会（2023年10月13日）登壇者 論題：「株式市場の効率性と流動性の計測」 概要：株式市場の質を評価する代表的な尺度に効率性と流動性がある。本報告ではそれらに関する計測法を紹介した。また、現在進めている関連研究について紹介した。

4. 特記事項（本年度のみ）

- ・行動経済学会 若手ワーキンググループ
- ・京都経済短期大学 募集入試委員長
- ・京都経済短期大学 第三者評価委員
- ・学校法人明德学園 経営専門委員会